

2022年9月12日

各位

(一財)北海道陸上競技協会
競技運営委員長 玉井 康夫

全道高校新人陸上大会 審判打合せについて(案内)

初秋の候 貴職におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より当協会に関わる様々な競技会等におきまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、今年度の各種全道規模の競技会(全道高校選手権、北海道選手権、国体道予選等)においては、粘土板の使用、光波測定器での跳躍種目計測、フィールド種目でのタイマー導入など、皆さまには多大なる負担を負っていただきながら、来年度の北海道インターハイを見据えた大会運営・審判業務を進めていただいております。

今回の全道高校新人、来年の高体連全道はいずれも札幌厚別競技場での開催となり、これまで以上にリハーサル大会としての意味合いを強く帯びてきます。インターハイに向けた準備状況の共有、課題等の確認、新たな業務に関する事、審判部署間の連携など綿密な打ち合わせの必要があるかと思えます。そこで、下記の通り、前日に打合せの時間を設定することとしました。

つきましては、公開練習の時間帯ではありますが、多くの皆さまにお集まりいただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日時： 2022年9月20日(火) 14時半～15時頃
2. 場所： 札幌市厚別公園競技場スタンド(100mスタート側)
3. 内容： ① 北海道インターハイ審判編成について【全体】
② 北海道インターハイ全般に関する説明【全体】
③ 今大会の審判業務及び班編成等の確認【部署毎】
④ 徳島インターハイ視察団の報告【部署毎】
4. その他： 校務の都合により、主任が来られない部署もあります。その部署については、当日の朝いつも通り打合せを行っていただき、視察等の報告については時間を確保し、情報共有に努めていただきたいと考えています。
なお、北海道インターハイの審判に関する質問・要望等に関しては、玉井まで連絡をお願いいたします。